

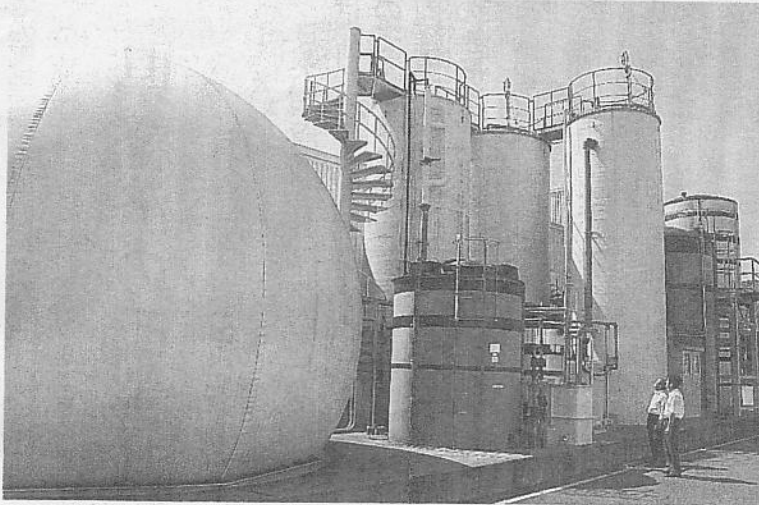
環境省・エコアクション21

本県、認証事業所数トップ独走

省エネ対策を経営戦略に生かす企業が県内で増えている。環境省が進める環境活動評価プログラム「エコアクション(EA)21」で、本県の認証事業所数は7年以上にわたり、全国トップを維持している。環境負荷の軽減をコスト削減や生産性の向上につなげようとする取り組み事業所を、県や市町も補助制度などでバックアップしている。

藤枝農産加工所が導入した廃シロップをバイオガスに転換する施設。同社が使用するガス量の1〜2割を賄う

16日午後、藤枝市堀之内



省エネ「経営戦略に」

食品メーカー、藤枝農産加工所(藤枝市、牧野恭三社長)。4年前に稼働した新工場の屋外には、フルーツ缶詰の生産工程で出る廃シロップをバイオガスに転換するシステムが建つ。旧工場では水で希釈して下水道に放流していた廃シロップが今では燃料となり、工場で使用するガス量の1〜2割を賄う。下水道料金も年間で約250万円削減できた。

「環境負荷を軽減するための取り組みが、コスト削減につながった」と牧野社長。社員一丸となって継続的に省エネに取り組もうと2013年5月にEA21を取得し、工場内の冷蔵庫や照明の節電化にも努める。牧野社長は「今後いかに継続的に省エネ対策に取り組めるかが、経営戦略になってくる」と語る。

EA21は、二酸化炭素排出量や排水量などの環境負荷を事業者が

＜メモ＞エコアクション21は、環境省が2004年から実施。認証取得には、環境負荷軽減のための行動計画を作成、実施した結果をレポートにまとめる。審査人による審査を受け、合格すると認定事業者として登録される。取得後は2年ごとの審査、更新が必要。取得経費や認定料は業種や従業員規模ごとに異なり、従業員30人以下の製造業者が初めて認定を受ける際の費用は15万円から(税別)。国際規格「ISO14001」の10分の1程度で取得できる点が注目され、全国の認定事業所数は7月18日現在で8139件。

県内の「エコアクション(EA)21」主な支援策

公共工事における優遇	入札参加資格者資格でEA21取得者を加点点、4市(富士、掛川、御殿場、伊豆の国市)総合評価でEA21取得者を加点点、22市町
補助制度	静岡市 取得経費、3万円上限に助成※
	磐田市 取得経費の2分の1以内、5万円上限に助成※
	伊豆の国市 取得経費、5万円上限に助成※ 藤枝市 初回の認証・登録料全額

※初めて認証を受けた管内事業所に限る

把握し、軽減のための環境計画を作成、実践して申請する。本県の認証事業所数は7月18日現在で990件。2位の東京(940件)、3位の大阪(487件)を抑え、2007年2月から全国トップを独得にしている県や市町の支援態勢が効果を上げていく」とし、「企業業務を務める県環境資源協会の平井一之専務は「公共工事の入札時刻の加点優遇や、認証取得」